

2021年度 基本方針

社会福祉法人 東備福祉会

昨年からの新型コロナウイルスもいまだ収まる気配がありませんが、感染予防対策に全職員が一丸となり取り組んでいます。

さて、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎えるにあたり、社会保障の持続可能性と効率化は必至の課題となっている。特に高齢者福祉においては、人材不足、リスクマネジメント、LIFEへの対応、IT導入強化など山積している。また、介護報酬改定への的確な対応も視野にいれなければいけない。

当法人においては、昨年7月に開設10年を迎え、これまでを振り返り、今年度は初心に立ち返り、新たなスタート切るため組織を一層しました。

各々が常に現状に甘んじることなく、向上心をもって取り組んでいくことを心掛けていかななくてはならない。

地域福祉の推進を責務と捉え、地域公益活動の義務化やガバナンスの強化などにも今まで以上に柔軟かつ迅速に対応していくことが必要と考えます。

時代の流れに敏感に反応しながら常に新しい意識変革を目標に掲げ、事業の推進と事業内容の拡充に邁進していきます。

※「LIFE（ライフ）」とは、厚生労働省が提供するサービスで、「科学的介護」の実践のために介護サービスにおけるエビデンスを集めて情報を蓄積し、それを分析するためのデータベースの総称です。

2021年度 事業計画

社会福祉法人

東備福祉会

1. 基本理念

1. 私達は愛情と尊敬をもって接し、お年よりにとって何が最良かを一緒に考え実践します。
2. 私達は地域社会に安心を提供し、いつも親近感のわく、あたたかい介護を行います。
3. 私達は地域の方々の健康と生活を守ります。
4. 私達は介護を通じて自己実現を計り、もって多大なる社会貢献を果たすと共に自らも幸福となります。
5. いつでも安心して生活できるように思いやりの心・温かい言葉・親切な行動・明るい笑顔で接します。

2. 基本方針

① 変革を目標とした運営

これまでの10年を精査し今後さらに法人を発展させていくため新たなスタートの年とする。社会情勢にも常に敏感に「新たな挑戦」を目標に掲げ、全職員が一丸となって法人経営を目指す。

② サービスの質の向上と自己研鑽

感染症対策、災害対策への取り組みに重点を置き、迅速かつ的確に行動できるよう平素から常に心掛ける。

現状に甘んじることなく常に振り返りながら、「根拠」をもって介護を展開していく。各部署間の情報共有と連携を密にし

て相互に向上できるよう取り組む。

③ 地域への貢献

地域共生社会の実現するための福祉拠点となれるよう、高齢者や子ども、障害者がそれぞれに活躍し、支え合うことで好循環を生み出すことができる取り組みを目指し展開していく。地域公益事業の義務化

に伴い、地域ニーズを把握し積極的な活動の展開を行う。

④ 人材の確保・定着・育成

外国人技能実習生、留学生も含め人材確保に繋げていく。業務改善を行い、効率化を図り、介護負担の軽減や記録業務や事務の効率化を図る。

オンライン研修会なども取り入れ、各職種に偏りのないように促す。職員の親睦会の開催など福利厚生にも努める。

⑤ 適正な事業管理と利益の確保

各サービス拠点における数値目標を定め、その達成に取り組む。通年を通して安定した収益確保に努める。経費の見直しを行い、無駄をなくし、より一層、安定的な事業運営に努める。